

## 令和元年度木津川市一般会計 補正予算第1号について（概要）

総務部財政課

令和元年度当初予算は、「骨格予算」として編成したところであるが、市長選挙後初となる第1号補正は、市長4期目のスタートとなることから、『第2次木津川市総合計画』に基づき、安心・安全・快適なまちづくりや、まちの資源を活かした観光振興、移住者支援による地域活性化、農林業振興など、更なる魅力あふれるまちづくりを目指して予算編成を行った。

### 予算案の主な概要

#### 1 補正予算の規模

補正前	283億	700万0,000円
補正額	6億2,041万5,000円	(2.2%増)
補正後	289億2,741万5,000円	

#### 2 予算の内容

##### 【主な歳入】

##### ◎国庫支出金

低所得者保険料軽減国庫負担金	687万1,000円増
地方創生推進交付金	920万0,000円増
社会保障・税番号制度システム整備事業費国庫補助金	239万1,000円皆増
プレミアム付商品券事業国庫補助金	1億3,981万6,000円皆増
子ども・子育て支援事業費国庫補助金	231万0,000円皆増
住宅・建築物安全ストック形成事業費国庫補助金	294万8,000円増
道路新設改良事業費国庫補助金	207万1,000円増

##### ◎府支出金

低所得者保険料軽減府負担金	343万6,000円増
京都府移住支援事業補助金	460万0,000円皆増
住宅等土砂災害対策改修支援事業費府補助金	19万3,000円皆増

崖地近接等危険住宅移転事業費府補助金	1 2 8 万 0, 0 0 0 円皆増
教育支援体制整備事業費府補助金	2 2 万 4, 0 0 0 円皆増
オリンピック・パラリンピック教育推進事業費府委託金	3 6 万 0, 0 0 0 円皆増
魅力ある学校づくり調査研究事業費府委託金	4 2 万 2, 0 0 0 円皆増

### ◎財産収入

土地貸付収入（本庁舎・加茂駅前駐車場）	1 7 2 万 0, 0 0 0 円増
土地売払収入（土地開発基金保有土地）	1 億 1, 2 8 8 万 3, 0 0 0 円皆増

### ◎繰入金

財政調整基金繰入金	4, 4 2 1 万 3, 0 0 0 円増
公共施設等整備基金繰入金	7, 0 0 0 万 0, 0 0 0 円増
ふるさと応援基金繰入金	4 0 0 万 0, 0 0 0 円増

### ◎諸収入

コミュニティ助成事業助成金	3 3 0 万 0, 0 0 0 円皆増
がんばる地域応援事業助成金	1 2 7 万 0, 0 0 0 円皆増
幼稚園預かり保育利用料	3 2 万 4, 0 0 0 円増
駐車場光熱水費負担金	2 1 万 2, 0 0 0 円皆増

### ◎市債

人権センター改修事業債	4 5 0 万 0, 0 0 0 円増
道路新設改良事業債	1 9 0 万 0, 0 0 0 円増
道路照明灯整備事業債	1 億 9, 6 7 0 万 0, 0 0 0 円皆増
加茂支所庁舎改修事業債	2 9 0 万 0, 0 0 0 円皆増

【主な歳出】 ※第2次木津川市総合計画の基本方針による。

◎ともに「学び」「喜び」「成長し」未来を生きる子どもを育むまちづくり	
オリンピック・パラリンピック教育推進事業費	3 6 万 0, 0 0 0 円皆増
魅力ある学校づくり調査研究事業費	4 2 万 3, 0 0 0 円皆増
預かり保育の受入体制拡大（幼稚園事務事業費）	2 9 万 0, 0 0 0 円増

### ◎誰もが生き生きと、生涯元気で暮らせるまちづくり

低所得者保険料の軽減強化（介護保険特別会計繰出金）	1, 3 7 4 万 3, 0 0 0 円増
---------------------------	------------------------

プレミアム付商品券（増税対策分）事業費

1億3,981万6,000円皆増

小谷下教育集会所解体及び跡地整備設計委託料（社会教育費施設管理事業費）

500万0,000円皆増

◎一人ひとりが認め合い、力を発揮できるまちづくり

コミュニティ事業補助金 330万0,000円皆増

がんばる地域応援事業補助金 127万0,000円皆増

第2次木津川市総合戦略策定準備経費 14万1,000円皆増

参議院議員選挙事業費 3万6,000円増

◎人・資源・立地を活かし、未来を拓く産業のまちづくり

ほ場整備推進事務事業費 20万7,000円皆増

企業立地促進事業費助成金 40万0,000円増

首都圏人材京都還流促進事業費 1,840万0,000円皆増

木津川アート2020開催準備経費 566万5,000円皆増

◎災害などから市民を守り、安心・安全に暮らせるまちづくり

住宅等土砂災害対策改修支援事業補助金 77万2,000円皆増

がけ地近接等危険住宅移転事業補助金 512万5,000円皆増

◎快適で住みよい生活環境と、豊かな自然に恵まれたまちづくり

木津川市森林調査委託費 378万3,000円皆増

地籍調査実施計画策定業務委託費 32万4,000円皆増

道路照明灯LED化工事費 2億1,857万7,000円皆増

内垣外内田山線他道路改良事業費 △2,613万1,000円減

木津中ノ川線外1線道路改良事業費 3,612万0,000円皆増

東中央線街路整備関連工事費 6,274万4,000円皆増

市営住宅清水団地改築に向けた調査費 787万3,000円皆増

◎効果的・効率的な行政運営と市民に開かれたまちづくり

市有財産売払経費（財産管理事務事業費） 1億1,632万5,000円皆増

加茂支所外壁等改修設計費 291万5,000円皆増

◎緊急事案対応

遺跡公園施設修繕料（文化財公開管理事業費） 132万2,000円増

令和元年度一般会計補正予算第1号 施策の概要

科 目	款	項	目
所	記載例		
事	当該補正予算において、新たに予算事業名称を作成したものを「新規」とし、それ以外のものは、原則、「継続」としています。		
市総合計画 (基本計画) の位置付け			
事業期間	新規・継続		
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府 市債 其他 一般財源
補正前			
補正額			
補正後			
補正予算額の 主な内訳	金額の表記は、原則として、費目ごとの補正額を記載し、( )内に補正後の予算額を記載していますが、予算の用途を明確にするため、事項ごとに費目ごとの金額を記載している場合もあります。その場合は、その事項に相当する補正後の金額を( )内に記載しています。		
主な特定財源			
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	年度によって変わるものではない当該事業の基本情報を記しています。 (補正予算の特徴等を記しているものではありません。)		
市民参加の状況			
将来にわたる効果等			

(単位:千円)

科 目	款	議会費	項	議会費	目	議会費
所 管	議会事務局					
事 業	2866	議会運営事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	【基本方針3 一人ひとりが認め合い、力を発揮できるまちづくり】 政策分野7 協働 施策①市民参加・参画					
事業期間	新規・継続			継続		
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	其他	一般財源
補正前	19,348					19,348
補正額	599					599
補正後	19,947					19,947
補正予算額の 主な内訳	消耗品費:99千円増(1,216千円) ※議員研修・現地視察や防災訓練等で議員が着用するための上着購入費 (@4,050円×20人+版代10,000円)×1.08=98,280円 訴訟終結謝金:500千円皆増 ※平成29年(行ウ)第7号公文書開示決定取消等請求事件(大阪高等裁判所平成31年3月26日判決、平成31年4月11日判決確定)の終結に伴う顧問弁護士謝金					
主な特定財源						
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	議会運営が円滑に行えるよう、議会の庶務的な業務を行う。					
市民参加の状況	インターネットを活用した議会ライブ中継・録画配信、会議録検索システム、議会だよりの発行等により議会活動の状況を公開する。					
将来にわたる効果等						

令和元年度一般会計補正予算第1号 施策の概要

(単位:千円)

科目	款	総務費	項	総務管理費	目	財産管理費
所管	総務部 財政課					
事業	81	財産管理事務事業費				
市総合計画(基本計画)の位置付け	【基本方針7 効果的・効率的な行政運営と市民に開かれたまちづくり】 政策分野17 行財政運営 施策④財産管理					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	12,872				463	12,409
補正額	116,325				112,883	3,442
補正後	129,197				113,346	15,851
補正予算額の主な内訳	落札手数料:3,442千円皆増 ※市有財産(土地開発基金保有土地)のインターネット売払いにかかる手数料(落札代金の3%、ただし、1億円超過分は1%) 土地購入費:112,883千円皆増 ※土地開発基金保有土地(所在地:木津川原田34番13、地目:宅地、面積:1,571.23㎡)					
主な特定財源	土地売払収入:112,883千円					
政策を必要とする背景及び提案の経緯	市有財産を適正に管理する。合併等で生じた余裕施設等の洗い出し、有効活用の検討、未利用財産の処分を進め、財政基盤の強化に努める。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等	売払可能資産の洗い出しを進めるとともに、個々の財産の経過等を整理し、売払いを進める。購入要望にも対応していく。また、売払い機会の拡大を一層進める。					

科目	款	総務費	項	総務管理費	目	財産管理費
所管	総務部 総務課					
事業	85	庁舎管理事業費				
市総合計画(基本計画)の位置付け	【基本方針7 効果的・効率的な行政運営と市民に開かれたまちづくり】 政策分野17 行財政運営 施策④財産管理					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	104,682				1,261	103,421
補正額	972					972
補正後	105,654				1,261	104,393
補正予算額の主な内訳	駐車場整備工事費:△2,592千円減(2,437千円)、工事負担金:3,564千円皆増 ※民間事業者が実施する北別館駐車場の舗装及び排水設備設置等工事に対する負担金 10月からの民間事業者による市役所駐車場の運営に向け、市施工を予定していたが、協議の結果、民間事業者が行うこととなったことにより予算を組み替えるもの。なお、見積額の時点修正を行ったこと、排水設備の設置等が必要と判断されたことから、当初予算額から増額となっている。					
主な特定財源						
政策を必要とする背景及び提案の経緯	来庁者の利便性や安全性を確保するとともに、庁舎における快適な執務環境を維持し、円滑な事務の執行を図る。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等	環境に優しい庁舎という方針のもと、組織全体で経費削減、省エネに取り組む。					

令和元年度一般会計補正予算第1号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	総務費	項	総務管理費	目	企画費
所 管	マチオモイ部 学研企画課					
事 業	101	企画事務事業費				
市 総 合 計 画 ( 基 本 計 画 ) の 位 置 付 け	【基本方針3 一人ひとりが認め合い、力を発揮できるまちづくり】 政策分野7 協働 施策①市民参加・参画					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	1,223					1,223
補 正 額	4,570				4,570	
補 正 後	5,793				4,570	1,223
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	【一般コミュニティ助成事業(一般財団法人自治総合センター)】 コミュニティ事業補助金:3,300千円皆増 ※城山台10丁目自治会:2,300千円(電化製品、集会所維持管理、防犯・野外活動などコミュニティ活動備品) ※州見台3・4・5丁目自治会:1,000千円(集会所エアコン2台の整備) 【がんばる地域応援事業(一般財団法人地域活性化センター)】 がんばる地域応援事業補助金:1,270千円皆増 ※当尾の郷会館CREATION PROJECT企画「とおのおと」(現代アート作家と地域住民の連携による展示会等)					
主 な 特 定 財 源	コミュニティ助成事業助成金:3,300千円、がんばる地域応援事業助成金:1,270千円					
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯						
市 民 参 加 の 状 況	行政運営における透明性の向上と市民等に対する説明責任を果たし、市民参加型の公平公正で開かれた市政の実現を目指す。					
将 来 に わ た る 効 果 等						

科 目	款	総務費	項	総務管理費	目	企画費
所 管	マチオモイ部 学研企画課					
事 業	3632	まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業費				
市 総 合 計 画 ( 基 本 計 画 ) の 位 置 付 け	【基本方針3 一人ひとりが認め合い、力を発揮できるまちづくり】 政策分野7 協働 施策①市民参加・参画					
事 業 期 間	平成26年度から			新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	5,926	2,000				3,926
補 正 額	141					141
補 正 後	6,067	2,000				4,067
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会委員報酬:137千円増(274千円)、費用弁償:4千円増(8千円) ※国において次期総合戦略の策定が進められているなか、今年度末で計画期間が終了する本市のまち・ひと・しごと創生総合戦略について、国の戦略方針を踏まえた第2次木津川市総合戦略(人口ビジョン含む。)を策定するため、今年度は、有識者による委員会を開催し、次期戦略の方針等を確認する。					
主 な 特 定 財 源						
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	まち・ひと・しごと創生法第10条に基づく、「木津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を推進する。					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等	誰もが「住みたい・住み続けたい・住んでよかった」と思える活力と魅力あるまちづくりを推進する。					

令和元年度一般会計補正予算第1号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	総務費	項	総務管理費	目	支所及び出張所費
所 管	総務部 総務課					
事 業	3252	加茂支所管理事業費				
市 総 合 計 画 ( 基 本 計 画 ) の 位 置 付 け	【基本方針7 効果的・効率的な行政運営と市民に開かれたまちづくり】 政策分野17 行財政運営 施策①行政サービス					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額		国庫	府	市債	その他 一般財源
補 正 前	51,667					40,000 11,667
補 正 額	2,915				2,900	15
補 正 後	54,582				2,900	40,000 11,682
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	【公共施設等マネジメントの推進(長寿命化)】 設計委託料:2,915千円皆増 ※昭和58年11月建築で35年以上経過する加茂支所の長寿命化改修に向けた外壁等改修設計業務					
主 な 特 定 財 源	加茂支所庁舎改修事業債:2,900千円					
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	来庁者の利便性や安全性を確保するとともに、庁舎における快適な執務環境を維持し、円滑な事務の執行を図る。					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等	保守管理業務の一括発注等により、維持管理経費の削減を図る。					

科 目	款	総務費	項	総務管理費	目	電子計算費
所 管	マチオモイ部 学研企画課					
事 業	209	基幹業務システム維持管理事業費				
市 総 合 計 画 ( 基 本 計 画 ) の 位 置 付 け	【基本方針7 効果的・効率的な行政運営と市民に開かれたまちづくり】 政策分野16 情報 施策③情報セキュリティ					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額		国庫	府	市債	その他 一般財源
補 正 前	126,167		3,072			2,254 120,841
補 正 額	2,374		5,036			△ 2,662
補 正 後	128,541		8,108			2,254 118,179
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	電算システム変更委託料:2,646千円増(17,773千円) ※10月からの消費税率引上げ分を活用した、低所得者に対する年金上乘せ支給のための国民年金システム及び幼児教育・保育無償化のための子ども子育て支援システムの改修 社会保障・税番号制度中間サーバー利用負担金:△272千円減(5,313千円) ※中間サーバー次期システム構築に対する負担金額の確定による。					
主 な 特 定 財 源	年金生活者支援給付金支給業務事務取扱交付金:335千円、社会保障・税番号制度システム整備事業費国庫補助金:2,391千円、子ども・子育て支援事業費国庫補助金:2,310千円					
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	京都府・市町村共同開発システムなどの基幹系業務システムを安定的に稼働させ、行政運営の効率化を図る。					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等						

令和元年度一般会計補正予算第1号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	民生費	項	社会福祉費	目	介護保険費
所 管	健康福祉部 高齢介護課					
事 業	993	介護保険特別会計繰出事業費				
市 総 合 計 画 ( 基 本 計 画 ) の 位 置 付 け	【基本方針2 誰もが生き生きと、生涯元気で暮らせるまちづくり】 政策分野4 福祉 施策②高齢者福祉					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	692,440	3,931	1,965			686,544
補 正 額	13,743	6,871	3,436			3,436
補 正 後	706,183	10,802	5,401			689,980
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	介護保険特別会計繰出金:13,743千円増(706,183千円) ※消費税率引上げに伴い、更なる低所得者保険料の軽減強化を図る。 第1段階は平成27年4月から基準額に乗じる率を0.45から0.4に軽減実施済を、0.35へと強化、第2段階へと軽減対象を拡大し、基準額に乗じる率を0.65から0.575へと軽減する。					
主な特定財源	低所得者保険料軽減国庫負担金:6,871千円、低所得者保険料軽減府負担金:3,436千円					
政策を必要とする背景及び提案の経緯	介護保険特別会計への繰出金事業					
市 民 参 加 の 状 況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費
所 管	マチオモイ部 農政課					
事 業	3764	ほ場整備推進事務事業費				
市 総 合 計 画 ( 基 本 計 画 ) の 位 置 付 け	【基本方針4 人・資源・立地を活かし、未来を拓く産業のまちづくり】 政策分野9 産業・雇用 施策①農林業					
事 業 期 間	令和元年度から			新規・継続		新規
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前						
補 正 額	207					207
補 正 後	207					207
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	普通旅費:51千円皆増、消耗品費:50千円皆増、通信運搬費:56千円皆増、有料道路通行料:50千円皆増 ※農業・農村が有する多面的機能の保全・向上を図り、儲かる農業構造を確立し、集落機能を維持していくための一つの手段としてインフラ整備を検討するにあたり、集落の地域農業に対する意向調査を行う。5月21日開催の地域長会議において周知し、整備の意向を示した地域から費用対効果等を勘案し対象地域を選定、農家等を対象にアンケート調査を実施し、今年度中にはほ場整備実施を盛り込んだ京力農場プランの作成に繋げる。					
主な特定財源						
政策を必要とする背景及び提案の経緯	農業・農村が有する多面的機能の保全・向上を図り、儲かる農業構造を確立し、集落機能を維持していくため、インフラ整備事業を実施するもの。					
市 民 参 加 の 状 況						
将来にわたる効果等						



令和元年度一般会計補正予算第1号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費
所 管	マチオモイ部 農政課					
事 業	1653	林業振興事業費				
市 総 合 計 画 ( 基 本 計 画 ) の 位 置 付 け	【基本方針4 人・資源・立地を活かし、未来を拓く産業のまちづくり】 政策分野9 産業・雇用 施策①農林業 【基本方針6 快適で住みよい生活環境と、豊かな自然に恵まれたまちづくり】 政策分野15 自然・環境 施策①地球環境保全					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	1,617					1,617
補 正 額	3,783					3,783
補 正 後	5,400					5,400
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	【森林環境譲与税活用事業】 森林調査委託料:3,783千円皆増 ※木津川市森林調査の実施(令和元年度:山城町域、令和2年度:木津町域、加茂町域) 適切な経営管理が行われていない人工林を、意欲と能力のある林業経営者や市町村に委ね、森林の経営管理を確保し、林業の成長産業化と森林の適切な管理の両立を図ることを目的とした、森林経営管理法が平成31年4月1日に施行されたことを受け、森林経営管理制度(新たな森林管理システム)に取り組むため、森林情報の収集、現地確認、対象エリアの抽出などを行う。					
主な特定財源						
政策を必要とする背景及び提案の経緯	山城町森林公園の管理、林業振興全般の庶務					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等	施設を適正に管理し、利用者の安全を確保する					

科 目	款	商工費	項	商工費	目	商工総務費
所 管	マチオモイ部 観光商工課					
事 業	3760	プレミアム付商品券(増税対策分)事業費				
市 総 合 計 画 ( 基 本 計 画 ) の 位 置 付 け	【基本方針2 誰もが生き生きと、生涯元気で暮らせるまちづくり】 政策分野4 福祉 施策①地域福祉 【基本方針4 人・資源・立地を活かし、未来を拓く産業のまちづくり】 政策分野9 産業・雇用 施策②商工業					
事 業 期 間	令和元年度			新規・継続		新規
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前						
補 正 額	139,816	139,816				
補 正 後	139,816	139,816				
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	職員手当:3,780千円皆増、普通旅費:11千円皆増、消耗品費:1,208千円皆増、印刷製本費:406千円皆増、光熱水費:205千円皆増、通信運搬費:3,887千円皆増、プレミアム付商品券発券等委託料:118,338千円皆増、電算システム等委託料:9,448千円皆増、事務機器等賃借料:2,513千円皆増、コピー機リース料:20千円皆増 ※消費税率引上げが低所得者・子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えするため、低所得者・子育て世帯向けプレミアム商品券(額面25,000円、うちプレミアム分5,000円)の発行・販売に取り組む。対象者数15,100人を想定する。					
主な特定財源	プレミアム付商品券事業国庫補助金:139,816千円					
政策を必要とする背景及び提案の経緯	国の施策として、消費税率引上げが低所得者、子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起、下支えするため、プレミアム付商品券の販売を行う。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

令和元年度一般会計補正予算第1号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	商工費	項	商工費	目	商工総務費
所 管	マチオモイ部 観光商工課					
事 業	3761	首都圏人材京都還流促進事業費				
市 総 合 計 画 ( 基 本 計 画 ) の 位 置 付 け	【基本方針4 人・資源・立地を活かし、未来を拓く産業のまちづくり】 政策分野9 産業・雇用 施策②商工業					
事 業 期 間	令和元年度から			新規・継続		新規
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前						
補 正 額	18,400	9,200	4,600			4,600
補 正 後	18,400	9,200	4,600			4,600
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	【地方創生推進交付金事業(広域連携事業)】 移住支援金:18,400千円皆増 ※東京23区に在住または通勤している者が木津川市に移住し、「京都府UJターンナビ」に掲載された対象企業等に就業した者に対して、国、京都府、市が連携し、移住支援金を支給することで、移住定住を促進し、地域の担い手の確保と市内中小企業への就業者の創出を図る。 京都府の試算から、今年度の対象を単身者600,000円×9件、世帯1,000,000円×13件と見込む。					
主な特定財源	地方創生推進交付金:9,200千円、京都府移住支援事業補助金:4,600千円					
政策を必要とする背景及び提案の経緯	国の施策として、UJターンによる起業・就業者の創出を行い、移住者の移住に伴う経済負担を軽減するための支援金を支給する取組み、移住希望者と地方の中小企業等とのマッチングを支援する取組み、地域の課題を解決する事業を起業するために要する事業資金の助成を行う取組みについての支援施策が創設され、実施するもの。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	商工費	項	商工費	目	観光費
所 管	マチオモイ部 観光商工課					
事 業	1705	観光振興事業費				
市 総 合 計 画 ( 基 本 計 画 ) の 位 置 付 け	【基本方針4 人・資源・立地を活かし、未来を拓く産業のまちづくり】 政策分野8 観光交流 施策①観光振興					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	35,689	2,800			1,690	31,199
補 正 額	5,665					5,665
補 正 後	41,354	2,800			1,690	36,864
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	観光振興事業委託料:5,665千円増(29,141千円) ※関係団体等における木津川アート開催の意思決定が行われたことを受け、「木津川アート2020」の開催に向け準備経費を計上する。					
主な特定財源						
政策を必要とする背景及び提案の経緯	歴史的文化的遺産等の活用をはじめとした、魅力づくりを行うため、多様な主体との連携を進め観光振興を図る。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

令和元年度一般会計補正予算第1号 施策の概要

(単位:千円)

科目	款	土木費	項	土木管理費	目	建築指導費
所管	建設部 都市計画課					
事業	3762	住宅等土砂災害対策改修支援事業費				
市総合計画(基本計画)の位置付け	【基本方針5 災害などから市民を守り、安心・安全に暮らせるまちづくり】 政策分野11 防災・減災 施策①災害対策					
事業期間	令和元年度から			新規・継続		新規
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前						
補正額	772	386	193			193
補正後	772	386	193			193
補正予算額の主な内訳	住宅等土砂災害対策改修支援事業補助金:772千円皆増 ※土砂災害防止法により指定された土砂災害特別警戒区域内では、外壁強化や防護壁の設置等の構造規制により改修費用が多額となることから、建築物の安全性確保を促進するため、土砂災害対策改修に対する補助を行う。 土砂災害対策改修工事費上限額3,360千円×23%×1件=772千円					
主な特定財源	住宅・建築物安全ストック形成事業費国庫補助金:386千円、住宅等土砂災害対策改修支援事業費府補助金:193千円					
政策を必要とする背景及び提案の経緯	土砂災害特別警戒区域内の建築物の安全性を確保し、土砂災害による被害の抑制を図る。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科目	款	土木費	項	土木管理費	目	建築指導費
所管	建設部 都市計画課					
事業	3763	がけ地近接等危険住宅移転事業費				
市総合計画(基本計画)の位置付け	【基本方針5 災害などから市民を守り、安心・安全に暮らせるまちづくり】 政策分野11 防災・減災 施策①災害対策					
事業期間	令和元年度から			新規・継続		新規
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前						
補正額	5,125	2,562	1,280			1,283
補正後	5,125	2,562	1,280			1,283
補正予算額の主な内訳	がけ地近接等危険住宅移転事業補助金:5,125千円皆増 ※土砂災害から市民の生命・財産を守るため、がけ地に近接した危険住宅の移転事業費等に対する補助を行う。 危険住宅除去等経費上限額975千円×1件=975千円 危険住宅に代わる住宅建設または購入利子補給上限額4,150千円 (建物取得上限額3,190千円×1件、土地購入上限額960千円×1件)					
主な特定財源	住宅・建築物安全ストック形成事業費国庫補助金:2,562千円、崖地近接等危険住宅移転事業費府補助金:1,280千円					
政策を必要とする背景及び提案の経緯	土砂災害による被害が危惧される既存住宅(危険住宅)について、移転移転事業費等を補助することにより、市民の生命・財産を守る。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

令和元年度一般会計補正予算第1号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	土木費	項	土木管理費	目	施設管理総務費
所 管	建設部 管理課					
事 業	1737	地籍調査事業費				
市 総 合 計 画 ( 基 本 計 画 ) の 位 置 付 け	【基本方針7 効果的・効率的な行政運営と市民に開かれたまちづくり】 政策分野17 行財政運営 施策③財政基盤の確立					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	2,617					2,617
補 正 額	324					324
補 正 後	2,941					2,941
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	地籍調査実施計画策定業務委託料:324千円皆増 ※国による一般国道24号城陽井手木津川バイパス整備の事業化(区間:城陽市富野～山城町上狛、延長:約11.2km、総事業費:約300億円)が決定されたことを受け、市内の整備予定箇所周辺地域の地籍調査を行うため、地籍調査実施計画を策定する。 公図や計画平面図、登記情報などを集約し、全体の事業期間、総事業費、事業量の積算などを行う。					
主な特定財源						
政策を必要とする背景及び提案の経緯	地籍調査による境界点を復元できる状態で維持し、公共工事に役立てる。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路維持費
所 管	建設部 管理課					
事 業	1749	道路維持管理事業費				
市 総 合 計 画 ( 基 本 計 画 ) の 位 置 付 け	【基本方針6 快適で住みよい生活環境と、豊かな自然に恵まれたまちづくり】 政策分野14 交通ネットワーク 施策①道路					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	239,064	6,800		6,100	85,000	141,164
補 正 額	218,577			196,700	20,000	1,877
補 正 後	457,641	6,800		202,800	105,000	143,041
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	道路照明灯LED化工事費:218,577千円皆増 ※二酸化炭素や電気消費量の削減と、安全で快適な道路環境の整備を図るため、市道道路照明灯のLED化に取り組む。市内道路照明灯1,864台を予定する。					
主な特定財源	道路照明灯整備事業債:196,700千円、公共施設等整備基金繰入金:20,000千円					
政策を必要とする背景及び提案の経緯	安全で快適な道路環境を維持するため、点検や補修工事等を行う。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

令和元年度一般会計補正予算第1号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路新設改良費
所 管	建設部 建設課					
事 業	3434	内垣外内田山線他道路改良事業費				
市 総 合 計 画 ( 基 本 計 画 ) の 位 置 付 け	【基本方針6 快適で住みよい生活環境と、豊かな自然に恵まれたまちづくり】 政策分野14 交通ネットワーク 施策①道路					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	80,031	25,662		19,000	30,000	5,369
補 正 額	△ 26,131	△ 8,250		△ 5,700	△ 10,000	△ 2,181
補 正 後	53,900	17,412		13,300	20,000	3,188
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	道路新設改良工事費:△26,131千円減(37,869千円) ※社会資本整備総合交付金の配分結果により、平成30年度国の第2次補正予算による事業費を、平成30年度 予算に前倒し計上したため。					
主 な 特 定 財 源	道路新設改良事業費国庫補助金:△8,250千円、道路新設改良事業債:△5,700千円、公共施設等整備基金繰入金: △10,000千円					
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	木津中央地区の街びらきにあわせて、既設市道の道路拡幅、歩道のバリアフリー整備等を行うことにより、木津駅 周辺の公共交通のネットワーク形成を図る。					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等						

科 目	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路新設改良費
所 管	建設部 建設課					
事 業	3621	木津中ノ川線外1線道路改良事業費				
市 総 合 計 画 ( 基 本 計 画 ) の 位 置 付 け	【基本方針6 快適で住みよい生活環境と、豊かな自然に恵まれたまちづくり】 政策分野14 交通ネットワーク 施策①道路					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前						
補 正 額	36,120	10,321		7,600		18,199
補 正 後	36,120	10,321		7,600		18,199
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	道路改良工事費:33,150千円皆増、支障物件等移設補償費:2,970千円皆増 ※社会資本整備総合交付金の配分結果による。					
主 な 特 定 財 源	道路新設改良事業費国庫補助金:10,321千円、道路新設改良事業債:7,600千円					
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯						
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等						

令和元年度一般会計補正予算第1号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	土木費	項	都市計画費	目	街路事業費
所 管	建設部 建設課 まちづくり事業推進室					
事 業	3418	東中央線整備事業費				
市 総 合 計 画 ( 基 本 計 画 ) の 位 置 付 け	【基本方針6 快適で住みよい生活環境と、豊かな自然に恵まれたまちづくり】 政策分野14 交通ネットワーク 施策①道路					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	141,450			123,100	10,000	8,350
補 正 額	62,744				64,000	△ 1,256
補 正 後	204,194			123,100	74,000	7,094
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	東中央線街路整備関連工事費:62,744千円皆増 ※遮音壁設置等56,929,400円(遮音壁H=3.0m、万葉歌碑設置) 工事費のうち万葉歌碑設置工事の財源として、ふるさと応援基金4,000千円を活用する。 ※樋門改修5,813,640円(フラップゲート改良、巻上ゲート取付)					
主 な 特 定 財 源	公共施設等整備基金繰入金:60,000千円、ふるさと応援基金繰入金:4,000千円					
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	京都府が施行する東中央線整備事業に対する負担金支払い及び関連事業を行う。					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等						

科 目	款	土木費	項	住宅費	目	住宅管理費
所 管	建設部 施設整備課					
事 業	1909	市営住宅維持管理事業費				
市 総 合 計 画 ( 基 本 計 画 ) の 位 置 付 け	【基本方針6 快適で住みよい生活環境と、豊かな自然に恵まれたまちづくり】 政策分野13 都市基盤 施策②住宅					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	140,916	19,970		54,500	45,682	20,764
補 正 額	7,873					7,873
補 正 後	148,789	19,970		54,500	45,682	28,637
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	調査委託料:7,873千円皆増 ※「木津川市営住宅ストック総合活用(長寿命化)計画」において、建替えと位置付けられた清水団地の建替方針、建替基本計画及びスケジュール等を作成するため、対象住宅及び周辺地域の現況調査、整理を行う。					
主 な 特 定 財 源						
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	市営住宅の適正な維持管理により、住環境を充実させる。					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等	改善プランを作成し、計画的に事業に取り組む。					

令和元年度一般会計補正予算第1号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	教育費	項	教育総務費	目	事務局費
所 管	教育部 学校教育課					
事 業	3561	施設管理事業費				
市 総 合 計 画 ( 基 本 計 画 ) の 位 置 付 け	【基本方針1 ともに「学び」「喜び」「成長し」未来を生きる子どもを育むまちづくり】 政策分野2 教育 施策①教育環境					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	80,610					80,610
補 正 額	675					675
補 正 後	81,285					81,285
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	産業廃棄物処分委託料:508千円皆増 ※平成29年6月27日にJESCOに登録を行っていた山城中学校保管の高濃度PCB廃棄物(安定器17.3kg)の 処分時期確定通知(11月頃処分可能)による。					
主な特定財源						
政策を必要とする背景及び提案の経緯	教育施設全般の維持管理及び整備に関する事務					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	教育費	項	教育総務費	目	事務局費
所 管	教育部 学校教育課					
事 業	3712	オリンピック・パラリンピック教育推進事業費				
市 総 合 計 画 ( 基 本 計 画 ) の 位 置 付 け	【基本方針1 ともに「学び」「喜び」「成長し」未来を生きる子どもを育むまちづくり】 政策分野2 教育 施策②学校教育					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前						
補 正 額	360		360			
補 正 後	360		360			
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	講師謝礼:161千円皆増、費用弁償:15千円皆増、消耗品費:172千円皆増、通信運搬費:12千円皆増 ※京都府オリンピック・パラリンピック教育推進事業の指定校として、京都府教育委員会から相楽小学校、木津川 台小学校、上狛小学校と山城中学校が指定を受けたことによる。					
主な特定財源	オリンピック・パラリンピック教育推進事業費府委託金:360千円					
政策を必要とする背景及び提案の経緯	オリンピック・パラリンピックそのものについての学びやオリンピック・パラリンピックを通じた学びにより、「スポーツの 力」を実感させるとともに、一人ひとりに豊かな「スポーツごころ」を育み、2020年以降のスポーツ文化の広がりにつ ながる。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

令和元年度一般会計補正予算第1号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	教育費	項	教育総務費	目	事務局費
所 管	教育部 学校教育課					
事 業	3759	魅力ある学校づくり調査研究事業費				
市 総 合 計 画 ( 基 本 計 画 ) の 位 置 付 け	【基本方針1 ともに「学び」「喜び」「成長し」未来を生きる子どもを育むまちづくり】 政策分野2 教育 施策②学校教育					
事 業 期 間	令和元年度から			新規・継続		新規
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前						
補 正 額	423		422			1
補 正 後	423		422			1
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	講師謝礼:70千円皆増、普通旅費:176千円皆増、消耗品費:177千円皆増 ※魅力ある学校づくり調査研究事業の指定校区として、京都府教育委員会から泉川中学校区が指定を受け、「不登校が生じないような学校づくり」に関する調査研究に取り組む。					
主な特定財源	魅力ある学校づくり調査研究事業費府委託金:422千円					
政策を必要とする背景及び提案の経緯	「不登校が生じないような学校づくり」を目指し、「居場所づくり」「絆づくり」等の取り組みを通じた実践的な調査・研究を行うことで、新規不登校数の抑制を図る。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	教育費	項	中学校費	目	学校管理費
所 管	教育部 学校教育課					
事 業	2153	学校管理事業費				
市 総 合 計 画 ( 基 本 計 画 ) の 位 置 付 け	【基本方針1 ともに「学び」「喜び」「成長し」未来を生きる子どもを育むまちづくり】 政策分野2 教育 施策①教育環境					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	21,462					21,462
補 正 額	336		224			112
補 正 後	21,798		224			21,574
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	部活動指導員報酬:336千円皆増 ※平成29年度学校教育法施行規則の一部改正により設置が可能となっている部活動指導員を、7月から泉川中学校(陸上部)に設置し、教職員の負担軽減を図る。					
主な特定財源	教育支援体制整備事業費府補助金:224千円					
政策を必要とする背景及び提案の経緯	中学校の管理運営に関する庶務等を行う。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						



令和元年度一般会計補正予算第1号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	教育費	項	幼稚園費	目	幼稚園費
所 管	教育部 学校教育課					
事 業	2225	幼稚園事務事業費				
市 総 合 計 画 ( 基 本 計 画 ) の 位 置 付 け	【基本方針1 とともに「学び」「喜び」「成長し」未来を生きる子どもを育むまちづくり】 政策分野2 教育 施策②学校教育					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	40,992	1,516	1,516		3,304	34,656
補 正 額	290				324	△ 34
補 正 後	41,282	1,516	1,516		3,628	34,622
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	社会保険料:3千円増(1,540千円)、臨時職員賃金:287千円増(30,807千円) ※保護者ニーズ調査の結果を受け、9月から預かり保育の受け入れ曜日を拡大(火・木曜日⇒火・木・金曜日)する ため、預かり保育に従事する臨時職員3人(1人×3園)と加配1.5人(0.5人×3園)にかかる社会保険料と臨時職員 賃金を増額する。 なお、5月から利用事由の緩和(リフレッシュ目的可)、3歳児の受入開始(条件あり)、定員下限の撤廃(3名以上 実施⇒1名から実施)を行っている。					
主 な 特 定 財 源	幼稚園預かり保育利用料:324千円					
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	幼稚園教諭(臨時職員)等の雇用、幼稚園運営全般に関する庶務を行う。					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等						

科 目	款	教育費	項	社会教育費	目	社会教育総務費
所 管	教育部 社会教育課					
事 業	3627	施設管理事業費				
市 総 合 計 画 ( 基 本 計 画 ) の 位 置 付 け	【基本方針2 誰もが生き生きと、生涯元気で暮らせるまちづくり】 政策分野5 文化 施策①生涯学習					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	60,142				42,033	18,109
補 正 額	5,280			4,500		780
補 正 後	65,422			4,500	42,033	18,889
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	【小谷下教育集会所解体及び跡地整備事業】 建築確認申請手数料:37千円皆増、設計委託料:5,000千円増(8,802千円) ※新耐震基準以前の建物であり、老朽化が進んでいることから、加茂人権センター改修等事業完了後に解体・撤 去し、駐車場として整備するための設計を行う。					
主 な 特 定 財 源	人権センター改修事業債:4,500千円					
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	生涯学習の充実と施設環境の整備を図るため、社会教育施設の管理等を行う。					
市 民 参 加 の 状 況	施設環境の整備を図ることにより、利用者増につながる。					
将 来 に わ た る 効 果 等	施設の維持管理・改修を行うことにより、施設の安全面を確保することができる。					

令和元年度一般会計補正予算第1号 債務負担行為補正の概要

【参考】

1. 追加

事 項	期 間	限 度 額	内 容
木津北地区環境調査業務委託	令和元年度～令和2年度	16,973千円	<p><b>【概要】</b>                      「生物多様性木津川市地域連携保全活動～みもろつく鹿背山再生プラン～実施計画」に基づき、木津北地区における現状の自然環境の調査・分析を行うことにより、木津川市地域連携保全活動を支援することを目的とする。                      具体的には、定期的に動植物に関する調査を行うことにより、生息・生育状況の変化傾向等を把握、保全上の課題を整理し、その対策を検討する。また、地域連携保全活動との連携・モニタリングの仕組みの構築なども併せて検討を行う。                      ＊計画準備、現地調査(植物、カスミサンショウウオなどの動物、報告書作成など</p> <p><b>【限度額】</b>                      16,973千円(令和元年度:0千円、令和2年度:16,973千円)</p> <p><b>【スケジュール等(予定)】</b>                      令和元年8～9月(業者選定、契約)                      令和元年10月～令和2年10月末(予定契約期間)</p>
新学校給食センター及び加茂学校給食センター給食調理・配送業務委託	令和元年度～令和6年度	1,430,550千円	<p><b>【概要】</b>                      市内すべての学校給食にかかる調理等の業務を民間企業に委託し、民間企業が有する業務や食品衛生等に関するノウハウを最大限に活用し、「豊かで安心安全な学校給食」をさらに推進する。</p> <p><b>【限度額】</b>                      1,430,550千円(令和元年度:0千円、令和2年度～令和6年度まで毎年度286,110千円)</p> <p><b>【スケジュール等(予定)】</b>                      事業者選定:令和元年5月～7月(プロポーザル方式)                      委託準備期間:令和元年7月～令和2年3月                      委託業務期間:令和2年4月～令和7年3月</p>

令和元年度 地方創生推進交付金事業一覧

【参考】

【広域連携事業】

※網掛けが、補正予算第1号によるものを示す。

(単位:千円)

No.	事業名 (申請事業名)	事業概要	関係市町村	予算事業名 (所管課)	申請経費	事業費	推進交付金 既交付決定額	交付申請額
1	山背古道アナログ遊びプロジェクト (今だけ・ここだけ・貴方だけ観光推進事業)	平成7年に整備された山背古道の散策道を活用し、観光客の誘客と魅力ある地域づくりを目指すもの。	城陽市・井手町・木津川市	【1705】観光振興事業費(観光商工課)	山背古道推進協議会負担金	500	250	—
2	お茶の京都推進事業 (今だけ・ここだけ・貴方だけ観光推進事業)	お茶の京都DMO協議会負担金及びお茶の京都博負担金として。	宇治以南12市町村	【1705】観光振興事業費(観光商工課)	お茶の京都DMO協議会負担金	5,100	2,550	—
3	首都圏人材京都還流促進事業	京都府が府内関係市町村と連携し、移住支援金対象企業と首都圏在住者のマッチングの促進を図るため、移住者に支援金の給付し、目指す将来像の実現を図る。	亀岡市、福知山市、舞鶴市、綾部市、京丹後市、南丹市、木津川市、和束町	【3761】首都圏人材育成京都還流促進事業費	首都圏からの移住者補助金	18,400	—	9,200
小 計						24,000	2,800	9,200

【単独事業】

No.	事業名 (申請事業名)	事業概要	関係市町村	予算事業名 (所管課)	申請経費	事業費	推進交付金 既定予定額	交付申請額
1	ふるさと応援事業補助金 (京野菜・織物リジェネレーション事業)	個人・団体が主体となって取り組むまちづくり事業に対する補助。	—	【3632】まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業費(学研企画課)	ふるさと応援事業補助金	4,000	2,000	—
2	地域農業活性化事業 (京野菜・織物リジェネレーション事業)	市内産農産物の情報発信、ブランド力強化、農に特化した認証取得支援。	—	【3663】地域農業活性化事業費(農政課)	展示会等出展補助金	5,800	2,900	—
					認証取得補助金	1,000	500	—
					木津川市農で頑張る協議会補助金	6,000	3,000	—
小 計						16,800	8,400	—
合 計						40,800	11,200	9,200

	補正予算第1号後
事業費	40,800
地方創生推進交付金	20,400
一般財源	20,400